

第 18 回日本放射光学会若手研究会 募集要項

1. 若手研究会公募の趣旨

放射光は、物質科学から生命科学に至るまで幅広い研究分野で活用され、学術研究のみならず産業応用にも広がる現代科学の基盤技術として欠かせない存在です。最近では、3GeV 高輝度放射光施設「NanoTerasu」の稼働開始に加え、「SPring-8-II」へのアップグレード計画が具体化するなど、軟 X 線および硬 X 線領域における高輝度放射光を活用した新たなサイエンスの創発や展開への期待がますます高まっています。

さらに、近年の情報科学の進展は目覚ましく、放射光科学分野においても、人工知能 (AI) や機械学習を活用したデータ解析が不可欠となりつつあります。このような変革期において、次世代の放射光科学を担う若手研究者が中心となり、今後の研究展開を考える場として、若手研究会を広く募集します。

本研究会は、若手研究者のリーダーシップ育成、新たな研究ネットワークの形成、さらには独創的で萌芽的な研究テーマの発掘とその推進に寄与することを目指します。

過去の研究会は学会 HP (https://jssrr.smoosy.atlas.jp/ja/past_young_ws) をご覧ください。

2. 募集条件

- ・放射光科学の将来を議論する若手主体の研究会である
- ・将来ビジョンについての議論を含めるものとする
- ・放射光科学に関するものであれば研究分野は問わない
- ・代表者、共同申請者は学会員である
- ・代表者と共同申請者は全て異なる研究室・研究グループに所属している
- ・代表申請者および 1 名以上の共同申請者の年齢が 40 歳以下とする
- ・50 万円を上限とした開催費用を補助する（他予算との共催も可能）
- ・採択された研究会は学会誌への開催報告書提出を義務付ける
- ・参加想定人数 30 名程度以上とする
- ・開催時期：2026 年夏（7 月から 9 月）に開催可能なもの

3. 申請締切

2026 年 3 月 23 日（月） 17:00 必着（若手研究会申請書による申請）

4. 申請書提出方法

事務局宛に E-mail の添付ファイルで提出して下さい。

E-mail: jssrr@jssrr.jp

5. 本件に関する問い合わせ先

日本放射光学会 行事幹事 山本 達 (E-mail: susumu@tohoku.ac.jp)

6. 選考方法

- ・若手研究会選考委員会（以下、選考委員会）を組織して、その選考を行います。
- ・選考委員会は、学会長が委嘱した委員長と複数の委員、および、会長、担当幹事により構成します。
- ・その選考は申請書の記載内容による書類選考を基本とし、必要に応じて選考委員会において申請者へのヒアリング（場所・日時は申請者に後日連絡）を実施します。

〈選考基準〉

- ・以下の項目を考慮した審査を行います。

- ① 放射光科学にむけたニーズを的確に捉えた研究テーマであるか。
- ② 独創的・萌芽的な研究テーマの発掘・促進が期待できるか。
- ③ 研究会を実現するために、十分計画が練られているか。
- ④ 放射光科学の新しいネットワークの形成・発展が期待できるか。 等

※なお、すべての申請が趣旨と合致しない場合には、「採択課題なし」の可能性もあります。